

29年度に国高を卒業しました、東京大学文科三類の安井歩美と申します。

私は中学でソフトテニスを始め高校では続けるかどうかを迷っていたのですが、仮入部で国高ソフトテニス部のすてきな先輩方と出会い、競技の楽しさも再確認して入部を決めました。

一年生の頃は先輩方の背中を見ながら練習を重ね、二年生になると部長を任せていただきました。もちろん大変なこともありましたが、同期を中心に「部活を維持し、強くしていくにはどうすれば良いか」を考え、様々なイベントを乗り越えていく充実感は非常に大きく、自信にもなりました。代替わりを終えて三年生になり、夏前に引退して感じたことは「この部活が大好き」ということです。当ホームページでもご紹介しているように、この部活は学年を超えて部員同士の絆が強く、勉強もテニスもそれぞれ全力で頑張っています。私も三年の文化祭ではキャストをしました。また、体育祭の応援や文化祭の係、委員会などと両立しながら活動する部員も多くいます。

国高ソフトテニス部の仲間や顧問の先生、コーチの方々との繋がりが国高生活の充実を後押しし、今の楽しい大学生活を支えてくれたことは間違いありません。

